



「支え合い、学び合うネットワーク」

世田谷区介護サービスネットワーク NEWS No,6

令和 7 年度 第 8 回世田谷区介護サービスネットワーク運営委員会

実施日時: 令和 7 年 11 月 18 日(火)18:30~19:30

参加者: 菊本、磯崎、山口、丸茂、丸山、水口、上保、柴田、後藤、富樫

区: 安田係長・横倉(介護保険課)、神郡係長(高齢福祉課)

研修センター: 木本センター長、枝係長、村木

1. 世田谷区からの報告

(1) 第 10 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に関する委員推薦の依頼
(高齢福祉課 神郡係長)

- 本年度より、第 10 期計画の策定に着手。地域保健福祉審議会に高齢介護部会を設置し、審議

○依頼事項の概要

- 推薦人数: 1 名
- 委嘱期間: 2 年間
- 部会の概要
 - 開催時期: 来年 2 月から合計 6 回の開催を予定
 - 開催場所: 基本的に区役所、会場確保が難しい場合は周辺の区立施設
 - 開催時間: 原則として 2 時間。2 回目、3 回目については事例発表を予定している。
- 役割
 - 高齢介護計画策定にあたっての質疑や意見交換など
 - 2 回目、3 回目部会で、5 分から 10 分程度の事例発表を予定しており、別途依頼
- その他
 - 後日、正式な依頼文を世田谷区介護サービスネットワーク事務局宛てに送付
 - 委員には、部会出席ごとに謝礼を支払う。

- 途中で委員を変更する場合は、後任の方に引き継ぎ、区へ連絡
- スケジュール
 - 部会の1回目、2回目の日程は既に決定
 - 直接参加が難しい場合はオンラインでの参加も可
 - 残りの部会は調整中
- 回答期限: 12月26日までに区へ回答

(2) 世田谷区より情報提供

- ① 介護報酬の期中改定についての情報提供(安田係長より)
 - 先週末のニュースで、2026年度に介護職員の処遇改善のための臨時の報酬改定を行う方針が固まると報道
 - 今年度は国が補正予算で対応し、来年度は報酬改定で対応予定。具体的な改定内容は未定
 - 状況は早くても来月末頃に分かってくる見込みであり、情報が分かり次第、改めて情報提供
- ② ハートページについて
 - 最新版の世田谷区への納品は11月27日を予定
 - 納品と同時に、関係窓口への配付
- ③ 災害時協定の見直しについて
 - 災害対策小委員会より、世田谷区と介護サービスネットワークで締結している災害時協定の見直しの件について、進捗状況の問い合わせ。近年の災害状況や対応の変化により、行政サイドの考え方があわせてきているため、まず区側が災害発生時にどういう体制をとるのかを明確に示す必要がある。
 - 区側が対応できる範囲や、災害発生後のタイムラインに応じた対応も含めて、区が示すべきものを準備中。準備ができ次第を示し、そこから協定の見直しをスタートさせる予定

(3) 質疑応答

○質問1

ケアマネジャーの研修がなくなり、更新がなくなるという話は、どうなっているのか。

○回答1(安田係長)

研修自体はなくさず、更新制度がなくなるという方向性で決定。研修は、ケアマネジャーとしての業務を従事するにあたり、受講者でなければ配置してはならないという方針を国は考えている。

研修の仕組みとしては、個人負担の費用や、研修時間が勤務時間として認められないといった負担を解消する方向。分散してオンラインで受講できるなど、極力負担がかからない研修形態を検討中。具体的な開始時期や仕組みは、国が検討している最中のため、内容は未定。

○質問 2

2月13日の世田谷区介護サービスネットワーク主催の介護情報基盤の研修について、その頃には(介護情報基盤やケアプラン連携システムの)動きがもう少し明確になって、その情報もお伝えいただける予定か。

○回答(安田係長)

介護情報基盤については、自治体として知つておきたいことに関する質問と、それに対する回答を整理して、研修でお示しできると思う。ただ、区のスケジュール感については、2月の段階だとまだお示しできない。区役所内での運用に関する組織体制がまだできておらず、まずそこを作った上で、来年度以降に形を作っていく方法で動き出すのではないかと考える。

現在、他の自治体も同様に、国からの情報に対し、なんとなくこういうことなのだろうかという受け止めをしているような段階。

○質問 3

区の方でも、介護情報基盤を進める上での検討委員会のような場は持たれる予定なのか。

○回答(安田係長)

まだ、区役所の中の組織体制自体ができていないので、まずそこを作った上で、今後どうやっていくのかが決まっていくと思う。恐らく、来年度以降からある程度形を作っていく方法で動き出すのではないか。

○質問 4

先日、実績の保管について問い合わせたところ、紙での保管を求められた。これから進む方向(ペーパーレス化)がそうであるのに、区ではなかなか動いていないという印象を受けたが、そのことについても(区は)回答できないような状況か。

○回答(安田係長)

はい。運営基準がどう変わってくるのかというところもある。利用者さんへの交付物は難しいとしても、自分たちの事業所の保管分や関連サービス事業者への配布物について、印刷コストや郵送コストの軽減策として介護情報基盤が動き出すと想定している。そのため、今後はなるべくペーパーレスにできるような形で基準が変わっていくのではないかと想定。

2. 報告(研修センター 枝係長)

第17回せたがや福祉区民学会大会

- 目的：福祉に関する研究発表と情報共有、地域福祉の推進を目的とする。
- 日時：11月8日(土) 12:00～17:30
- 会場：東京都市大学 世田谷キャンパス
- 参加者数：460名。昨年度を大きく上回る。
- 発表内容：口頭発表55、ポスター発表8。当日の発表キャンセルはなく、全日程を無事終了
- 結果：全体的に見て大変有意義な学会であった。アンケートは集計中
- 今後の予定：報告集の作成と発行、発表内容の動画配信は、令和8年3月頃を予定
- 令和8年度の開催：昭和女子大学で開催予定。開催日程は未定。確定次第、報告

3. 部会活動報告

(1) 北沢部会 活動報告(除夜の鐘関連)

- 活動報告：「除夜の鐘」の実施と広報を準備中
地域交流の一環として実施しており、参加を呼びかけ。前回は、アライブ世田谷(有料老人ホーム)の利用者が、参加する等、活動の輪が広がっている。
- 広報：現在パンフレットを作成し、確認中(研修センター了解の返答済み)
- 配布場所：次の部会で再度確認を行い、区広報板やあんしんすこやかセンター等の機関等へ
- ポスティング：残ったチラシは、12月の北沢部会で集まった際に近隣へのポスティング予定
- 部数：500枚(令和6年度300枚)を刷り、配付後に残った約350～400部をポスティング予定。
- 経緯：除夜の鐘のイベントは、お寺で「寺ヨガ」を実施したことがきっかけで、地域の方々との交流や、介護サービスネットワークの事業所さんることを知ってもらうために始まった経緯がある。

(2) 訪問介護連絡会・通所連絡会 活動報告

- 活動報告：介護情報基盤に関する研修を実施予定
- 内容：介護情報基盤を中心に、通所連絡会と共同で研修を準備
- 日時：2月13日(金)18:30～
- 会場：総合プラザ 1階 研修

(3) その他(磯崎氏)

- 活動報告 1「三茶にサンタがやってくる 2025」

経済的に困窮している家庭の子どもたちに、クリスマスのプレゼントをするため、世田谷線の車両を貸切り、サンタの格好をして、寄付を募る活動。

昨年度は、約 150 万円の寄付を集め、経済困窮家庭など約 360 世帯にクリスマスプレゼントを配付。ご協力を。

- 活動報告 2 災害対策委員会

有志のメンバーが集まり災害対策小委員会を続けている。協定を更新すべく進めたいと考えており、皆さんの意見を求める。ご協力を。

次回予定：令和 7 年 12 月 16 日 18 時 30 分～